

〔地方公共団体との連携について〕

～埼玉県との実例から～

平成27年5月27日

全国健康保険協会 埼玉支部 柴田潤一郎

目 次

1. 埼玉県設置の会議への参画状況

- (1) 埼玉県地域保健医療計画等推進協議会
- (2) 埼玉県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会
- (3) 埼玉県医療を考えるとことん会議

2. 保険者協議会について

3. 埼玉県との連携状況

- (1) 健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定
- (2) 「ジェネリック医薬品セミナー」の開催
- (3) 受診促進等のイベントでの連携

1. 埼玉県設置の会議への参画状況

(1) 埼玉県地域保健医療計画等推進協議会

【協議会要綱(抜粋)】

(設置)

第1条 **埼玉県地域保健医療計画**及び埼玉県健康長寿サポートプラン(**埼玉県医療費適正化計画**)(以下「計画」という。)について、関係機関等との十分な連携を図るため、埼玉県地域保健医療計画等推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(役割)

第3条 協議会は、次の事項について、検討し、及び協議するものとする。

- (1) 計画の**試案作成**に関すること。
- (2) 計画の**推進**に関すること。

【協議会委員名簿】

氏名	役職
アライ ユキヒロ 荒井 幸弘	埼玉県国民健康保険団体連合会 常務理事
イガラシ タイコ 五十嵐 泰子	恩賜財団母子愛育会埼玉県支部 支部長
オノダ トシユキ 小野田 俊之	公募
カトウ キミエ 加藤 喜美江	(公社)埼玉県看護協会 副会長
カネコ ノブユキ 金子 伸行	(一社)埼玉県薬剤師会 副会長
カワタ コウジ 川田 功二	(社福)埼玉県社会福祉協議会 評議員
カンノ タカシ 菅野 隆	(一社)埼玉県精神科病院協会 会長
キクチ スグル 菊地 傑	(一社)埼玉県食品衛生協会 専務理事
クボヤマ カズエ 窪山 一枝	NPO法人埼玉県介護支援専門員協会 理事
クワハラ カズエ 栗原 和江	公募
クワジマ オサム 桑島 修	健康保険組合連合会埼玉連合会 常務理事

氏名	役職
コヤタ ヒロシ 小谷田 宏	(一社)埼玉県歯科医師会 副会長
シバタ ジュンイチロウ 柴田 潤一郎	全国健康保険協会埼玉支部 支部長
タケミ ユカリ 武見 ゆかり	女子栄養大学 教授
タムラ ノリコ 田村 典子	埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会 監事
トミオカ マサアキ 富岡 正明	(公財)埼玉県健康づくり事業団 専務理事
ハラサワ シゲル 原澤 茂	埼玉県公的病院協議会 会長
マルヤマ カオル 丸山 薫	(公社)埼玉県理学療法士会
ミヤチ マサコ 宮地 満佐子	(公社)埼玉県介護老人保健施設協会 副会長
ユザワ タカシ 湯澤 俊	(一社)埼玉県医師会 副会長
ヨシモト ノブオ 吉本 信雄	埼玉医科大学 専務理事

(五十音順 敬称略)

【平成24年度 協議会開催状況】

第1回 平成24年7月10日(火)

- (1) 埼玉県地域保健医療計画(第5次)及び健康長寿サポートプラン(医療費適正化計画)の目標値及び進捗状況について
- (2) 第6次埼玉県地域保健医療計画の策定について
- (3) 第2次埼玉県医療費適正化計画の策定について

第2回 平成24年10月23日(火)

- (1) 埼玉県地域保健医療計画(第6次)案について
⇒ 策定継続を確認

第3回 平成25年1月15日(火)

- (1) 埼玉県地域保健医療計画(第6次)案について
⇒ 最終案とすることを了承

埼玉県地域保健医療計画(第6次)案の概要

参考 1

埼玉県地域保健医療計画等
推進協議会資料
H25.1.15

計画策定の趣旨

- 本県の保健医療体制の整備の方向を示す。
 - 医療制度の持続・確保⇒医療費の適正化(将来の医療費の過大な増大を防ぐ)を目指す。
- 現行計画の期間が平成24年度に終了⇒見直し

計画期間

- 平成25年度から平成29年度まで

計画の性格

- 医療法第30条の4⇒医療計画
 - 高齢者の医療の確保に関する法律第9条⇒医療費適正化計画
 - 関係計画との整合性を図った保健医療に関する総合的な計画
- 一体計画

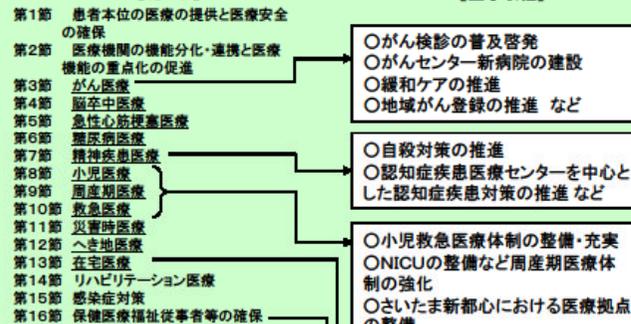
策定スケジュール



計画の方向、施策及び主な取組

1 質が高く効率的な医療提供体制の確保

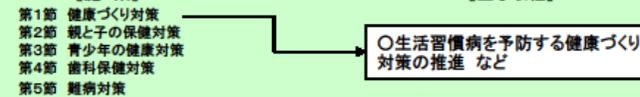
【施策】 【主な取組】



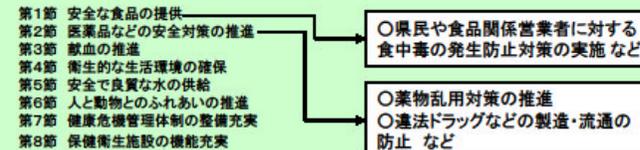
※上欄第3節から第13節までを総称して「5疾病・5事業及び在宅医療」という。
 ■5疾病(①がん、②脳卒中、③急性心筋梗塞、④糖尿病、⑤精神疾患)
 ■5事業(①小児医療、②周産期医療、③救急医療、④災害時医療、⑤へき地医療)及び
 ■在宅医療
 (国・基本方針に計画への記載事項として、新たに「精神疾患」及び「在宅医療」が追加。)

2 生涯を通じた健康づくり体制の確立

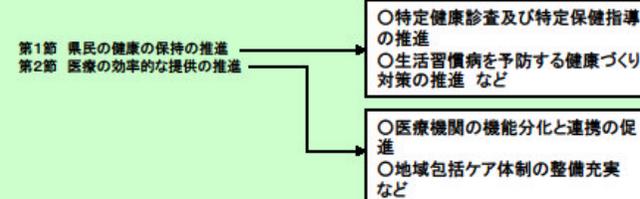
【施策】 【主な取組】



3 安心・安全な暮らしを守る健康危機管理体制の構築



4 健康の保持と医療の効率的な提供による医療費の適正化



【平成25年度 協議会開催状況】

第1回 平成25年11月27日(水)

(1) 埼玉県地域保健医療計画について

・第5次計画の結果および第6次計画の取組状況について

(2) 第1次埼玉県医療費適正化計画の実績評価について

【平成26年度 協議会開催状況】

第1回 平成26年8月6日(水)

(1) 埼玉県地域保健医療計画(第6次)の変更について

(2) 埼玉県地域保健医療計画(第6次)の進捗及び取組状況について

(3) 病床機能報告制度と地域医療構想(ビジョン)の策定について

(2) 埼玉県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会

【協議会要綱(抜粋)】

(趣旨)

第1条 県民及び医療関係者が安心してジェネリック医薬品を使用することができる環境整備について、関係者間で協議等を行うため、「埼玉県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、ジェネリック医薬品に関する次の事項について協議する。

- (1)ジェネリック医薬品の安心使用促進策に関すること
- (2)県民に対する正しい知識の普及啓発に関すること
- (3)その他必要な事項

【協議会委員名簿】

氏名	団体の役職
永井 正規	埼玉医科大学医学部 教授
杉林 堅次	城西大学 副学長兼薬学研究科長
新藤 健	一般社団法人埼玉県医師会 常任理事
小杉 国武	一般社団法人埼玉県歯科医師会 副会長
金子 伸行	一般社団法人埼玉県薬剤師会 副会長
関塚 永一	埼玉県公的病院協議会 理事
松本 富夫	一般社団法人埼玉県病院薬剤師会 理事

氏名	団体の役職
藪亀 恭明	埼玉県製薬協会 会長
石内 寿一	一般社団法人埼玉県医薬品卸業協会 常務理事
植田 富美子	埼玉県地域婦人会連合会 副会長
落合 一弘	公益財団法人埼玉県老人クラブ連合会 常任理事兼事務局長
木村 政夫	さいたま市保健福祉局福祉部 国民健康保険課長
桑島 修	健康保険組合連合会埼玉連合会 常任理事・事務局長
柴田 潤一郎	全国健康保険協会埼玉支部 支部長

27年度の事業計画に 「協会けんぽとの連携」が盛り込まれました！

【平成27年度事業計画(案)から抜粋】

1. 啓発活動等の継続・拡大

(2) 協会けんぽ埼玉支部と連携した普及啓発

【平成26年度事業の実施状況から抜粋】

- ・協会けんぽ埼玉支部との協定締結に向けた協議(8月～10月)
- ・埼玉県と協会けんぽによる「健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」において、ジェネリック医薬品の使用促進を主な事業とした
- ・「2015ジェネリック医薬品セミナー」を協会けんぽと埼玉県の共催で開催

(3) 埼玉県医療を考えるとことん会議

・県民目線で県の医療について議論し、抱える問題 と解決提言をまとめ、県や県医師会などに提言することで、県民ニーズに即した医療政策や医療提供体制の実現につなげることを目指す。

【会議設置要綱抜粋】

(目的)

第2条 とことん会議は、本県の医療課題について、医療の受け手である県民が主体的に議論し、県や埼玉県医師会に提言することで、県民ニーズに即した医療政策や医療提供体制の実現につなげることを目的とする。

(所掌事務)

第3条 とことん会議は、次に掲げる事項を議論する。

- (1) 高齢化に伴い増大する医療費抑制のための方策に関すること
- (2) 持続及び発展可能な医療体制づくりのための方策に関すること
- (3) その他、本県医療の課題に関すること

【会議委員一覧】

(50音順、敬称略)

所属団体等	職名	氏名
城西大学経営学部	教授	伊関 友伸 【座長】
市民の医療ネットワークさいたま	代表	上田 風生
中枢性尿崩症(CDI)の会	副代表	大木 里美
埼玉県PTA連合会	副会長	大村 相基
NPO法人ヒューマンシップコミュニ ティ	代表	佐野 幸子 【副座長】
全国健康保険協会埼玉支部	支部長	柴田 潤一郎

所属団体等	職名	氏名
地域の医療と健康を考える会	幹事	竹沢 弘子
城西大学	学生(公 募)	中山 梓
一般社団法人埼玉県経営者 協会	専務理事	根岸 茂文
フリーアナウンサー	-	町 亞聖
埼玉大学 (麒麟ビール)	客員教授 (元社長)	松沢 幸一
医療市民マイスター協会	代表	溝田 瑩貴

【会議開催状況】

第1回【平成26年 5月20日(火) 埼玉県知事公館】

埼玉県の医療の現状(埼玉県)、救急医療の現状(川越救急クリニック 上原淳院長)

第2回【平成26年 6月17日(火) 埼玉県庁議室】

在宅医療の現状(岡野クリニック 岡野昌彦院長)、委員による報告

第3回【平成26年 7月29日(火) 埼玉県庁議室】

医療費の現状(全国健康保険協会 柴田潤一郎埼玉支部長)、委員による報告

第4回【平成26年 8月26日(火) 埼玉県知事公館】

埼玉県が抱える医療課題の整理

第5回【平成26年 9月16日(火) 埼玉県知事公館】

県民ニーズに即した医療提供体制実現に向けた解決策の提示

第6回【平成26年10月21日(火) 埼玉県知事公館】

提言とりまとめ

会議の開催風景



埼玉県医療を考えるとことん会議 提言書

～将来にわたり県民を守る医療とするために～



平成26年11月
埼玉県医療を考えるとことん会議

埼玉県の医療への「基本的な考え方」と5つの提言

【基本的な考え方】

県民、事業者、医療関係者及び行政は、医療システムが県民の共通の財産で、限りあるものであると認識し、将来にわたり共に守り育てる。

1 救急医療を崩壊から「救う」ために

県民、事業者、医療関係者及び行政は、救急医療を崩壊の危機から救うため、各々が自覚と責任を持って行動する。

2 住み慣れた「地域(我が家)」で最期まで暮らすために

確実に訪れるこれまでにない超高齢社会に備え、県を挙げて前倒しで切れ目のない医療と介護サービスを提供する地域包括ケアシステムなどの整備を進める。

3 医療保険制度を「子や孫に引き継ぐ」ために

県民、事業者、医療関係者及び行政は、超高齢社会の到来により医療保険制度が持続可能性の危機にあることを認識し、医療費の抑制に取り組む。

4 医療の供給不足・地域格差を「解消」するために

医療関係者及び行政は、医療の質・量を早急に拡大強化するとともに、医療機関・診療科の偏在の緩和や医療の効率化を図る。

5 地域力を結集して埼玉の医療を「支える」ために

県民、事業者、医療関係者及び行政は、地域医療のあり方を共に考え、学ぶ場を積極的につくり、相互理解を深める。

上田知事・金井埼玉県医師会長に提言しました！



2. 保険者協議会について

平成27年3月16日開催の協議会要旨

- 保険者協議会の法定化により、医療計画・医療費適正化計画への関わり強化のため、協議会としての対応を検討する。
- データヘルス計画およびその進捗に関して、情報の共有化を図っていく。

※オブザーバーとして、埼玉県より国保医療課・保険医療政策課・健康長寿課、および医師会・薬剤師会が参加

3. 埼玉県との連携状況

(1) 埼玉県との包括協定の締結

- ・埼玉県とは、「健康づくり」および「受診促進」に関するイベントの参画を通じて、連携を強化してきた。
- ・今後、データ分析や医療費適正化における連携も検討していることなどを背景に、継続性をもった連携が必要となってきた。

【協定締結までのスケジュール】

- ・7月 : 保健医療政策課と協定について具体的な協議開始
- ・8月～10月 : 協定内容および締結後の具体的な事業について、協会と埼玉県各課横断的にワーキンググループにて検討
- ・11月27日 : 協定締結
- ・10月21日(火): 知事の定例会見で発表

埼玉県と協会けんぽの連携事業を検討するワーキンググループ

事業	メンバー	
	所属	担当
健診受診促進	保健医療政策課	新都心医療拠点・医療プロジェクト推進担当
	健康長寿課	健康増進・食育担当
	疾病対策課	がん疾病対策担当
	国保医療課	国保事業担当
	協会けんぽ	保健グループ
ジェネリック医薬品使用促進	保健医療政策課	新都心医療拠点・医療プロジェクト推進担当
	薬務課	販売指導担当
	国保医療課	総務・保険医療担当
	協会けんぽ	企画総務グループ
重症化予防対策	保健医療政策課	新都心医療拠点・医療プロジェクト推進担当
	国保医療課	国保事業担当
	協会けんぽ	企画総務グループ・保健グループ
医療費分析	保健医療政策課	医学部調査・政策企画担当
	国保医療課	総務・保険医療担当
	健康長寿課	医学部調査・政策企画担当
	協会けんぽ	企画総務グループ
地域・職域連携推進	健康長寿課	健康増進・食育担当
	保健医療政策課	医学部調査・政策企画担当
	協会けんぽ	企画総務グループ

協定概要

【目的】

この協定は、「埼玉県」及び「全国健康保険協会埼玉支部」が相互に連携及び協力し、県民の健康づくりの推進に向けて取り組むことで、県民の健康的な生活の実現に資することを目的とする。

【連携・協力事項】

- (1) 糖尿病性腎症重症化予防に関すること
- (2) 健(検)診受診率の向上に関すること
- (3) 働く世代の健康づくり支援(地域・職域連携)に関すること
- (4) 医療費分析に関すること
- (5) 医療費適正化に関すること
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること

(※ 協定書より抜粋)

連携して取り組む主な具体的事業

(1) 糖尿病重症化予防対策

市町村国民健康保険で実施している糖尿病重症化予防対策を協会けんぽ埼玉支部に加入する被保険者にも実施。

(2) ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用促進

ジェネリック医薬品に対する理解を深め、さらなる使用促進につなげるため、県と協会けんぽ埼玉支部がセミナーを共催（平成27年2月4日）。

(3) 働く世代の健康づくり支援

保健所及び市町村が連携して、協会けんぽ埼玉支部に加入する企業で働く方々の健康づくりの取組みを支援。

埼玉県との包括協定を締結しました！

- 【協定名】：健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定
- 【締結日】：平成26年11月27日（木）
- 【場所】：埼玉県庁 知事室
- 【出席者】：埼玉県 上田 清司 知事
全国健康保険協会埼玉支部 柴田 潤一郎 支部長



(2) 「ジェネリック医薬品セミナー」の開催

・埼玉県内でのジェネリック医薬品についての理解と使用促進を図るため、埼玉県との共催、さらには医師会等の関係機関の後援を得ることにより、全県的なテーマとして進めていく。

【開催日時】 平成27年2月4日(水)

【場 所】 大宮ソニックシティ・小ホール

【参加人数】 387人

【主 催】 全国健康保険協会埼玉支部 ・ 埼玉県

【後 援】 厚生労働省・埼玉県医師会・埼玉県歯科医師会・埼玉県薬剤師会・健康保険組合連合会埼玉連合会・埼玉県国民健康保険団体連合会・日本ジェネリック医薬品会・日本ジェネリック製薬協会・埼玉県社会保険委員会連合会・埼玉県社会保険協会・埼玉県社会保険労務士会



1. 開会挨拶

塩川 修 埼玉県副知事
柴田 潤一郎 全国健康保険協会 埼玉支部長

2. 基調講演

ジェネリック医薬品の現状と今後の展望～ジェネリック医薬品の理解を深めるために～

武藤 正樹 ジェネリック医薬品学会 代表理事

3. パネルディスカッション

コーディネーター

武藤 正樹 ジェネリック医薬品学会 代表理事

パネリスト

謝村 錦芳 埼玉県保健医療部薬務課 課長
新藤 健 埼玉県医師会 常任理事
鯉淵 肇 埼玉県薬剤師会 副会長
大坂谷 良弘 高田製薬株式会社 経営企画室 経営企画チーム 参事
伊奈川 秀和 全国健康保険協会 理事

(3) 受診促進等のイベントでの連携



様々なイベントで血圧測定を実施し、
健康管理の重要性をアピール



埼玉県健康長寿プロジェクトに参画。大宮駅のコンコースで各市町村の「マスコット・キャラクター」とともに受診促進キャンペーンを実施



上田埼玉県知事・清水さいたま市長・各市町村の
「マスコット・キャラクター」とともにPR